

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・近くの大学での人の入れ替わりや花見、ゴールデンウィーク、新茶などの対応をきめ細かく拾っていけばまだまだ数字は伸びる。今月は週3回くらいの割合で、ベースの上にとのくらい乗せられるかというチャレンジをしたところ、水曜日と金曜日に高い数字を示したので、引き続き挑戦していきたいと考えている。
	やや良くなる	観光型ホテル（営業担当）	・予約状況は悪くない。季節も良くなり、ガソリン値下げによるマイカーの動きに期待している。
		旅行代理店（支店長）	・2～3か月後は春の旅行シーズンに入るので今月よりは良くなる。また、北京オリンピックの商品も出てくるので、夏場に向けた販売も始まるということで期待している。
		ゴルフ場（副支配人）	・このところ入場者の動きが極めて顕著に上昇しており、前年比でみても大幅に上回っている。ただし、単価が若干下回っているため、売上は伸びていない。全体的にはその先の引き合いも順調にきているので、向こう3か月後、そう落ちることなく推移するのではないかとみている。
	その他レジャー施設 【アミューズメント】 （職員）	・インターネットカフェ、アミューズメントパークのほか、3月下旬からDVDのレンタルも始めた。相乗効果が期待できるので、客入りも増え、数字も上がっていくものと期待している。	
変わらない		百貨店（営業担当）	・物価の上昇など、依然良くなる材料が何もないので、購買については更に慎重になる。
		百貨店（販売促進担当）	・春物から初夏物、夏物への移行期に入るが、衣料品を中心にヒットが予想される商品も見当たらず、厳しい状況は依然として続く。
		百貨店（販売促進担当）	・高額品は売行きが鈍っており、無駄な物は買わないという消費者の傾向がはっきりしてきている。さらに、価格に対して敏感になり、通常価格よりも低めの商品が売行きを伸ばしそうな気がするが、百貨店の中ではそういった低価格の商品が少ないため、郊外型のショッピングセンターに客足が奪われている傾向にある。
		スーパー（統括）	・青果物等の生鮮食品の輸入規制が通常に戻れば、相場も安定し、売りやすくなる。問題は、輸入食品に対して消費者が以前のように戻らないと思われることである。
		コンビニ（店長）	・週末、特に日曜日の来客数がかなり減っている。この状態は悪くなることはあっても良くなることはない。
		衣料品専門店（店長）	・生活必需品の高騰による生活防衛のために客の財布のひもがますます固くなり、何か必要に迫るものがあったとしても、良品ではなく、安価な物が洋服だんすの中にあるもので済ましてしまって、購買にはなかなかつながらない。
		乗用車販売店（従業員）	・総需要の減少にガソリン価格の高騰等の悪影響が重なり、販売台数、売上高共に減少傾向にある。事業規模を縮小し営業費の削減をしない限り生き残れなくなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・同業者が倒産しているということもあり、とにかく良くなる要素、環境が全くない。既存の客はもちろん大事にして頑張っていくが、新規開拓の客がそんなに増えないということで、このまま悪い状態が続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・一時期より客の購入意欲が出てきたように思うが、相変わらず出来るだけ経費の掛からない車をという話が多く、まだまだ景気は良くならない。
		スナック（経営者）	・宴会の数はそれほど変化がない。フリー客はこれ以上落ちようのないところまで来ているので、当分はこのままなのではないかとみている。
		旅行代理店（副支店長）	・円高のため海外旅行が増加するようと思われるが、燃油サーチャージが予想以上に高く、旅行に掛かる費用は上がっている状況から、伸び悩みが予想される。国内は日帰り旅行の需要が増えそうだが、長期の旅行については苦戦しそうだ。
		ゴルフ場（従業員）	・単価は引き続き低価格路線を継続していく。来客数はこのまま横ばいで変わらない。
		ゴルフ場（支配人）	・来場者は地元中小企業のオーナーが多く、現在燃料の高騰、原材料費の値上げ、公共事業が少ない等で地元産業の低迷を懸念する客が多い。ゴルフ場として健康産業を前面に営業していく。

	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・安売りが続く限り、会社も従業員も良くならない。汗したものが売上に反映されない。在庫量が減少し、売上也減少している。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・昨年ショッピングセンターがオープンしたばかりなのに、さらに今夏シネコンを併設し、ホームセンターを核としたショッピングセンターがオープンする予定で、市場は明らかにオーバーストアとなっている。人口が減り続けるなか、一昨年には映画館もなかった市内に、いきなり16面ものスクリーンが増え、集客効率も悪い。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・車社会の現在、ガソリン問題はすべてに影響を及ぼす。ガソリン代が掛かるからといってその分を売価に上乗せもできず、商売も明るい兆しが見えてこない。ガソリンが下がったとしても他の物の値上げが発表されると客の意識がそちらへ向いてしまうので、家電業界にとっては厳しい。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・得意先の飲食店の売上状況がとても悪く、苦戦をしている。
	スーパー（統括）	・原材料の値上がりによるインフレは加速気味である。所得も増えないため、消費者の可処分所得は目減りし、生活防衛型の消費に大きくシフトしていくとみられる。
	高級レストラン（店長）	・県内最大手の建設会社が破たんし、関連会社の連鎖倒産が懸念されており、先行き不安が広がっている。
	都市型ホテル（経営者）	・円高、燃料費や小麦などの値上げが続く、企業の経費見直しがじかに影響する可能性がある。
	都市型ホテル（支配人）	・景気が悪いために出張客が出張を控えているように見受けられ、先の予約状況は芳しくない。これから予約が入ってくるかどうか不明な部分がある。
	美容室（経営者）	・1,000円床屋に女性客が増えている。約4分の1の料金でできるということで、客が移動しているのが現状である。若い女性をターゲットにしないと営業が難しくなるだろうと思っているが、当店は年齢層が幾分高めなので不安である。
	美容室（経営者）	・これから来客数は増えると思うが、生活防衛のためにカット客ばかりが増え、高単価のパーマ等は増えない状況である。
悪くなる	住宅販売会社（従業員）	・競争激化に加え、建築資材価格の上昇が顕著で適正利潤が確保できない状況になってきている。
	スーパー（販売促進担当）	・メーカーの値上げが今後も続く見込みの中、生活防衛の買い方は一層顕著になる。また、近隣に2～3店舗、競合店の出店が予定されており、そうした中で利益を確保するために一層の人員削減が進行中で、非常に厳しい状況である。
	家電量販店（店長）	・オリンピック需要に期待しながらの営業中である。中国開催だが最近の政情不安報道が影響しているのか、盛り上がっていない。
	住関連専門店（店長）	・特に業者向けの建築資材が毎週値上げになっており、今後も更に値上げが続くことが分かっている。従って、業者の購買頻度は更に低下する。
	一般レストラン（経営者）	・月の後半にきて歓送迎会等の予約はあるものの、この先の宴会予約は極端に少ない。個人的なグループ客に期待するも、今のところ予約は少ない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・昨年の予約状況はまずまずだったが、今年に入ってから昨年の3割ぐらいしか予約が入っていない。新規ホテルが4、5軒できるということで、5千円前後の特別料金が1か月から半年近く続くという最悪の状況にある。当社としても一時的に料金を安くすることを考えないといけない時期に来ている。
	タクシー運転手	・日ごろのいろいろな物が値上がりし、この地区では5月にタクシー料金も値上げになるので、ますますタクシーを利用する客が少なくなる。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	
	輸送業（営業担当）	・今後、年度替わりや夏場に向け季節商材などの物量も増え、ある程度は確保はできそうである。燃料高についても、荷主の中には車両の確保が難しい遠方に対しては運賃転嫁に理解を示してくれ、運賃の値上げが決まった先もある。希望通りの値上げではないが、現状よりはコスト負担の削減にはなる方向性が出てきている。
変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・資材の値上げ等で、受注量が増えるとは予想できない。同じではないかとみている。

	金属製品製造業（経営者）	・4月以降は原材料の高騰が効いてきて、相当厳しいという見込みだが、大手の取引先の工作機械部門では北米の引き合いも非常に多く、受注も減少していない。相手方から見ればドル安が幸いしているわけで、その分親工場も価格転嫁を検討している。それほど輸出も深刻ではないようである。当社も材料単価の一部で価格転嫁を認めてもらっている。
	一般機械器具製造業（経営者）	・当分の間、建設機械の部品は多少増加する予定であるが、自動車関連は減少する。ただし、6月以降、自動車関連の新規部品受注が現実化しそうなので期待している。
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・米国向けミニ建機用の仕事が大きく落ち込むが、他の仕事の増産、新規案件の立上げ予定があり、落ち込みをカバーできると見込んでいる。
	経営コンサルタント	・原料、燃料の値上がり、資材等の調達環境の悪化によって企業の経営活動が不活発になる恐れがあり、他方、諸物価の上昇や高止まり傾向の中で、個人消費も大きな回復が期待できない。
やや悪くなる	食料品製造業（営業統括）	・食品を始め、諸物価の値上げが次々と見込まれており、酒類のような嗜好品は買い控えの対象になりやすく、消費はかなり落ち込むものと考えられる。
	食料品製造業（製造担当）	・地元周辺の80%のスーパーや得意先は値上げを了承しているが、いまだに値を下げて何とか入り込んでくるような業者もあり、先行きにおいても非常に深刻な問題である。
	化学工業（経営者）	・向こう3か月の受注状況は例年の半分程度になっている。仕事の内容の変更をし、人が遊ばないように工夫している。あらゆる資材が値上がりし、製品原価が上がってきているので、企業努力だけでは吸収できなくなってきた。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注見込みの予想が全く立たない上に、原材料の高騰で店頭商品の販売価格も値上げするしかないため、売上の減少が予想される。
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の通信機器の新製品投入計画があるが、受注にどれだけ反映できるか不透明であり、当社受注に影を落としかねない状況である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注の見通しの悪さ、原油、鉄板、鋼材ほか原材料の値上がりへの懸念、急激な円高による企業への影響など、景気回復の要因がほとんどみられない。
	広告代理店（営業担当）	・広告を通じて取引をしている多くのクライアントが、材料費や輸送費の高騰で、すでに企業努力の限界を訴えている。特に、運送会社や飲食店の状況は深刻である。
悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・4～6月に関しては従来の仕事は2～3割減の見込みだが、4～5年前からずっと試作などを付き合ってきた会社が今年の夏に新製品を発売するというので、その受注が成功したので、当社としては売上の倍となるが、既存の会社の売上はかなり減少する。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・原材料高の分、価格転嫁できれば良いが、逆にコストダウン要請が強まっていて、先行きは収益が全く出ない状況になるのではないかと心配している。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者） 建設業（総務担当）	・4月以降宝飾品の販売が盛り上がる時期だが、昨年来の売上減が響き、2～3か月での回復は難しい。 ・当社取引の材料企業が、まったなしで値上げしてきている。燃料費の上昇と機械部品の値上がりで、現況価格では工場が赤字になってしまうとのことである。公共工事を受注している企業では、材料費や燃料費が大幅に値上がりしているのに、相変わらず低価格でしか仕事が確保出来ない状況であり、先行きも懸念される。
	金融業（総務担当）	・3月末までということでは値段を据置き、もしくは引き下げに応じてもらっていた業者は、4月以降値上げが確定しているため、支出は増加する。
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	職業安定所（職員）
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・2～3か月後は内々定の出るピークになりそうである。技術、専門系の職種は一段落し、事務職などの採用に移行する企業も出始める時期だが、メーカーを中心として技術系の採用枠が広がりをみせており、なかなか人材が確保できない企業は継続して技術、専門系を中心に採用活動をする可能性がある。

やや悪くなる	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数が4か月連続で前年同月を下回っている。特に飲食、福祉関係からのパート求人が減少している。</li> <li>・主要産業である製造業の求人は、引き続き前年同月に比べ減少している。</li> <li>・過去の円高経験から、製造業を中心に一気に慎重な姿勢となり、マンパワーの不足分は、雇用調整が即時可能な派遣にシフトする動きが目立ち始めている。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	
	民間職業紹介機関（経営者）	
悪くなる		